

学術集会プログラム委員会報告

担当理事：米田光宏（副理事長） 副担当理事：盛武 浩（教育・研修委員会担当理事）

委員長：渡邊健一郎 副委員長：高木正稔

委員：犬飼岳史、副島俊典、高間勇一、宮地 充、義岡孝子、柴 徳生、藤崎弘之、
野上恵嗣

【委員会開催】

2021年2月3日 18時00分～20時00分 web会議 出席28名

2021年4月7日 18時00分～19時45分 web会議 出席30名

2021年7月14日 18時15分～19時45分 web会議 出席30名

【活動内容】

1. 上級演題を中心とした学術集会プログラム内容の作成
2. 演題採否や学術集会開催に関する課題の検討
応募演題の倫理審査、英文校正に関して検討し対応した。
3. 優秀演題の選定：下記の4題に決定した。
4. *Pediatric Blood & Cancer* 誌抄録掲載：抄録原稿を確認した。

第63回日本小児血液・がん学会学術集会優秀演題

演題名：*KMT2A* 再構成陽性リンパ性白血病を対象とした Multi-Antigen Specific CAR-T細胞の開発

筆頭演者：末松正也 京都府立医科大学小児科

演題名：抗GD2抗体発現遺伝子を導入した間葉系幹細胞による神経芽腫新規細胞免疫療法の開発-in vitro 結果

筆頭演者：井口雅史 京都府立医科大学小児外科

演題名：移植片に含まれるCD8陽性T細胞数は小児T細胞非除去ハプロ移植の予後に強く影響する

筆頭演者：高橋信久 福島県立医科大学小児腫瘍内科

演題名：日本のLi-Fraumeni症候群の特徴—遺伝性腫瘍学会によるレビュー研究

筆頭演者：山崎文登 国立がん研究センター研究所臨床ゲノム解析部門